

歌と演奏 息ぴったり

北斗 特養ホームでコンサート

歌手・千鶴伽さん × あすなる学園バンド



伸びやかな歌声と息の合った演奏を繰り広げた千鶴伽さんと園生のステージ

【北斗】東京在住のシンガー・ソングライター千鶴伽さんと、江差町の知的障害者更生施設「あすなる学園」の園生

でつくるバンド「フィギヤーバンディ」が十日、市内追分の特別養護老人ホーム「つれづれの郷」でコンサートを開いた。

同バンドは、音符を色で表した「フィギヤート」という楽譜を利用。

二〇〇七年、園生が作る災害備蓄用のパンの缶の販売数が二百五十万個を越えたのを記念し、千鶴伽さんと共同でCDを制作、発売した。それ以降、同バンドは千鶴伽さんと一緒に福祉施設で演奏活動をしている。

この日は、千鶴伽さんが「里の秋」「月の砂漠」などの童謡をしっかりと歌い上げた後、フィギヤーバンディと共演。「おぼろ月夜」「花」、災害備蓄用のパンのテーマ曲「とっておきのタカラモノ」を演奏した。バンドの七人はボーカル、キーボードなどで息の合った

演奏をし、施設の利用者や職員ら約七十人を楽しませた。

また、あすなる学園は、

つれづれの郷に災害備蓄用のパンの缶二十個を寄贈した。

(久留利愛子)